

経営比較分析表（平成29年度決算）

千葉県横芝光町 東陽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
24,217	6,384	第2種該当	10：1	

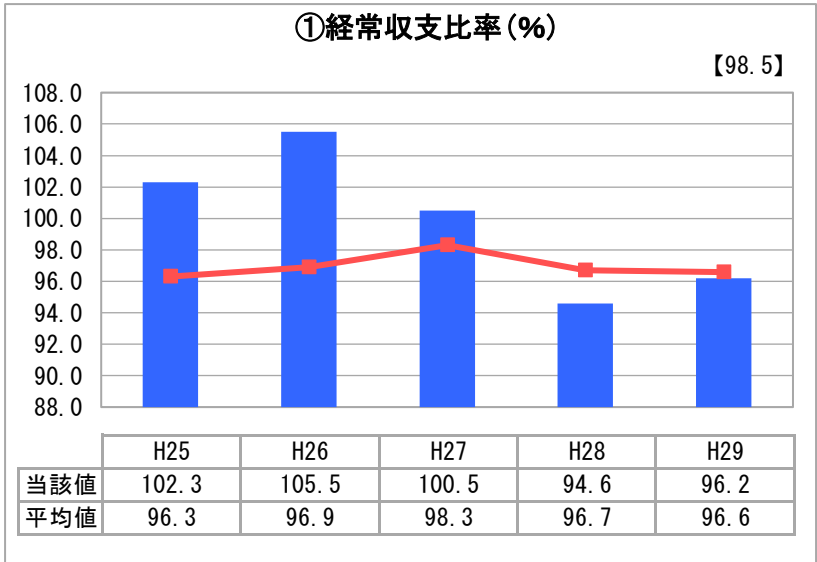
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

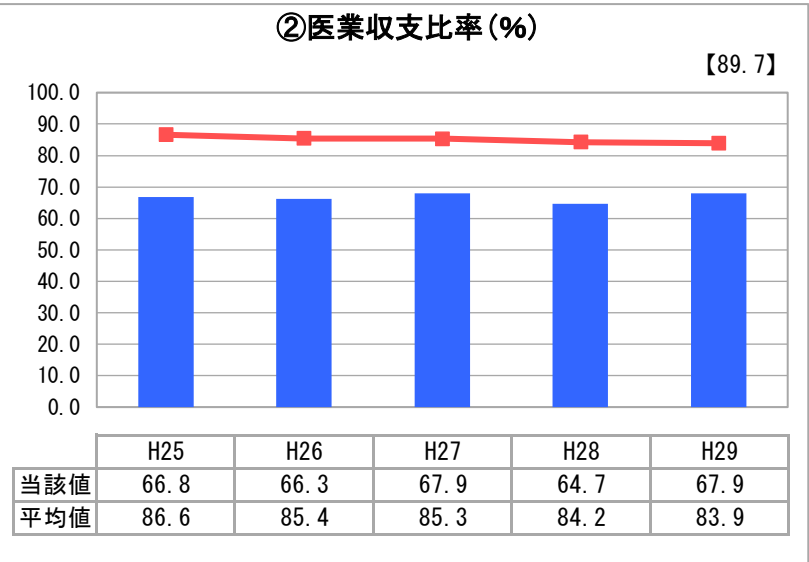
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
55	45	100

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

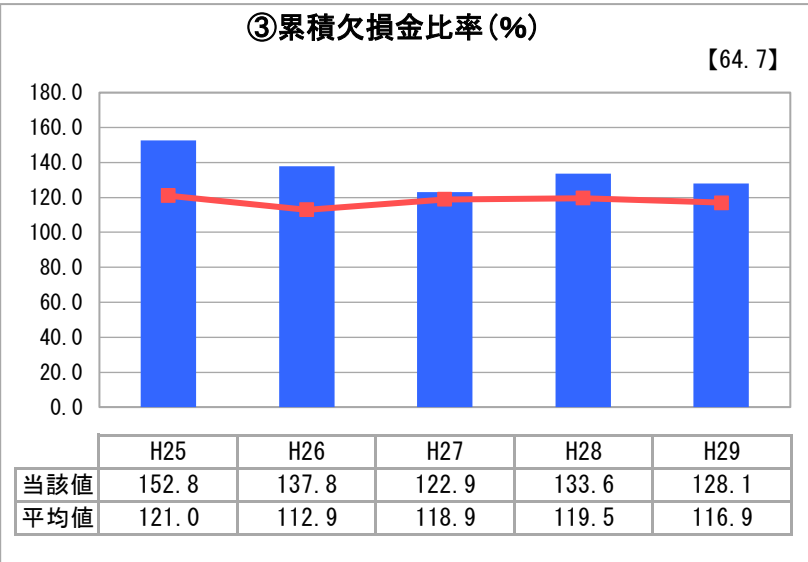
1. 経営の健全性・効率性



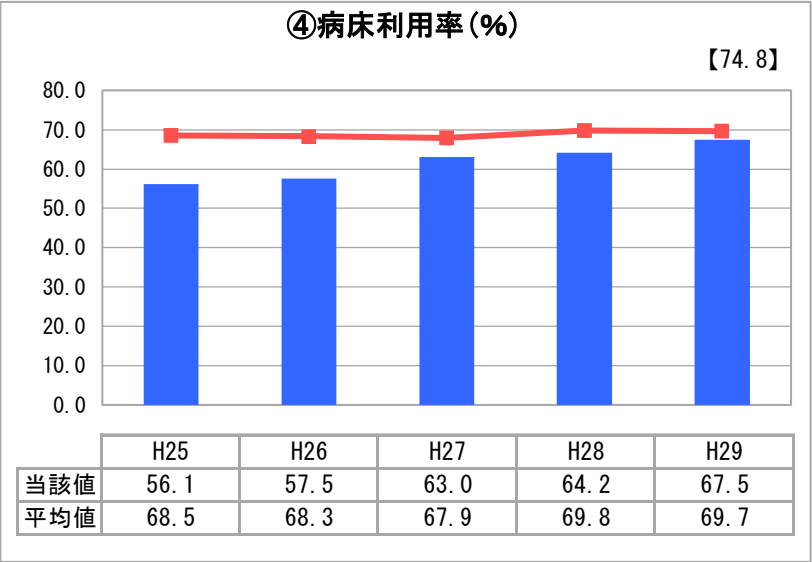
「経常損益」



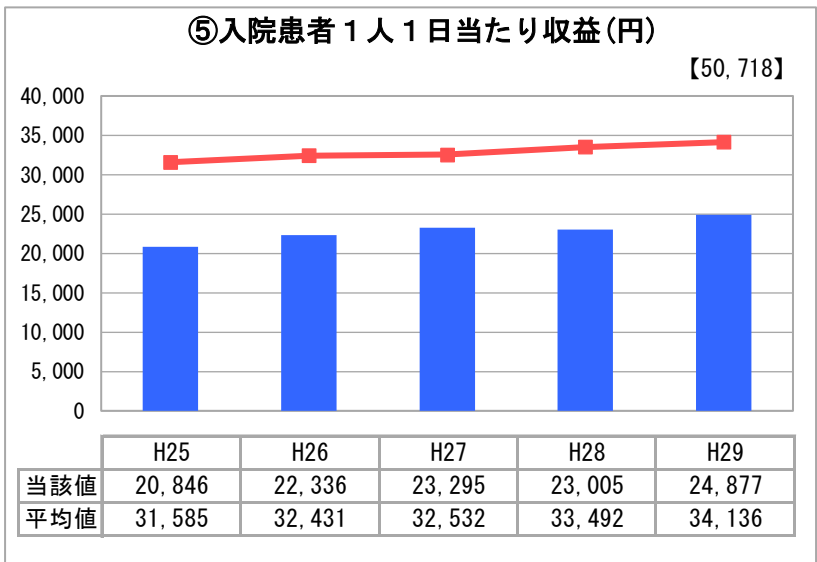
「医業損益」



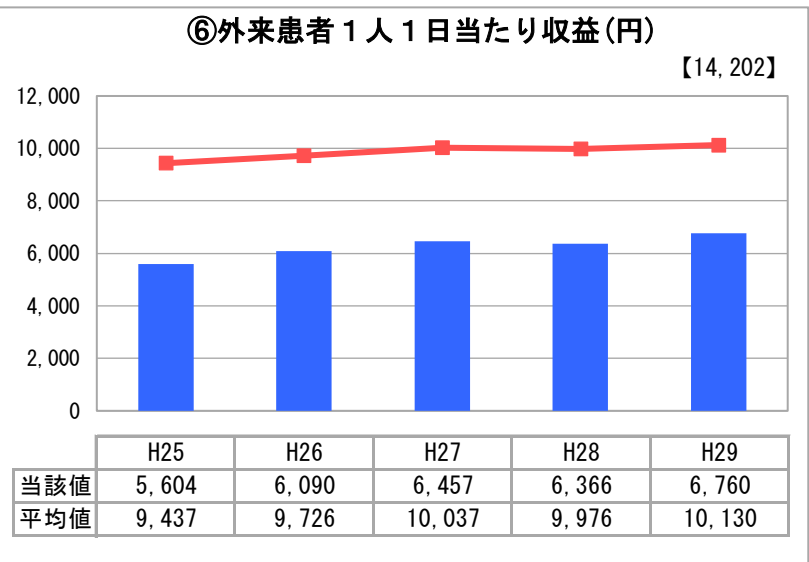
「累積欠損」



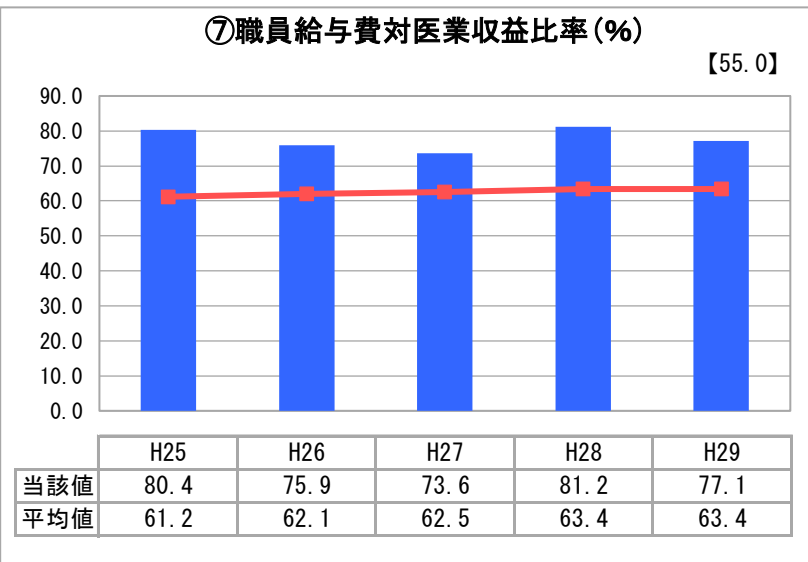
「施設の効率性」



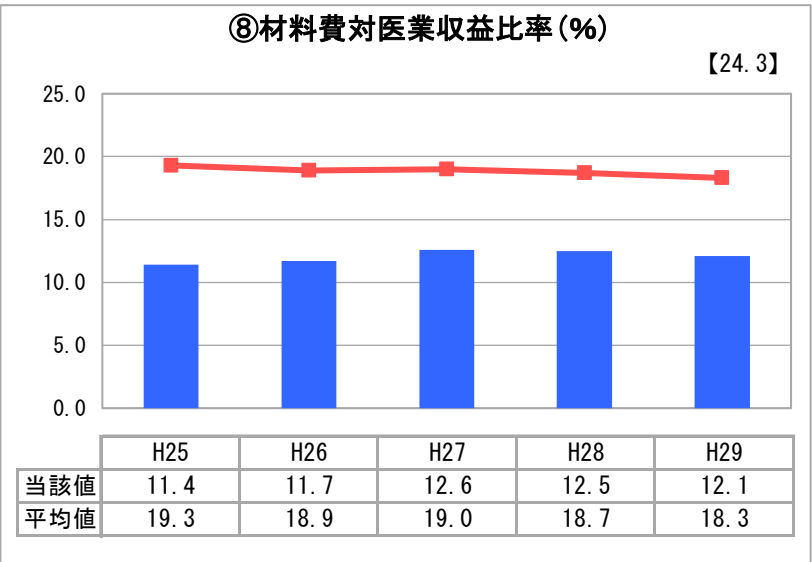
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

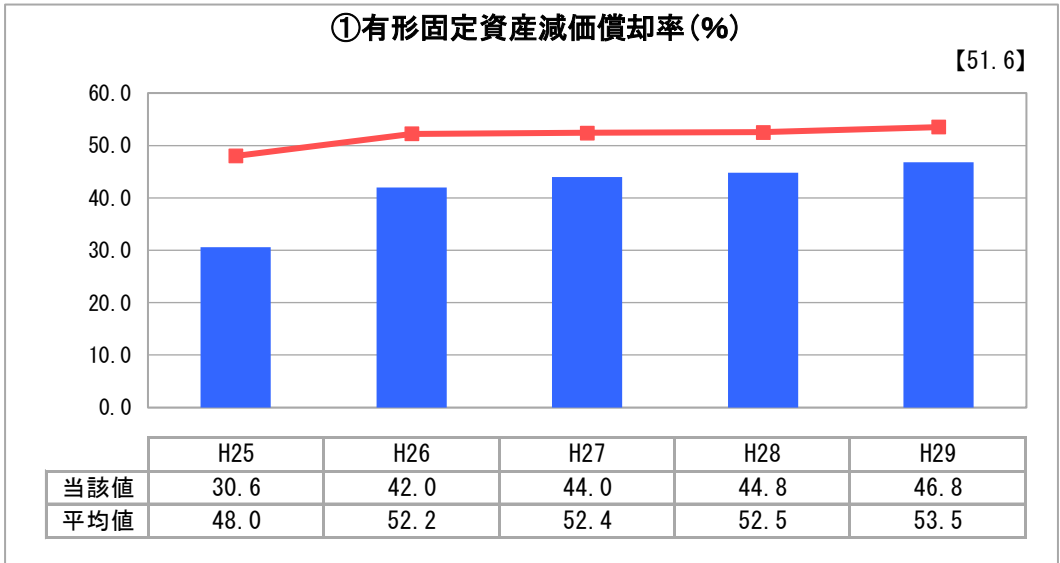


「費用の効率性①」

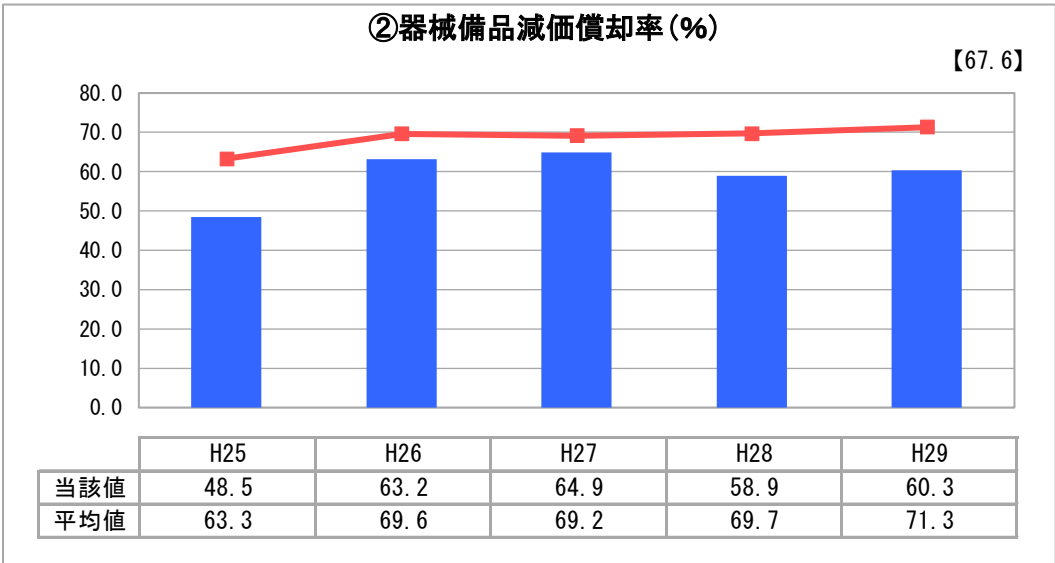


「費用の効率性②」

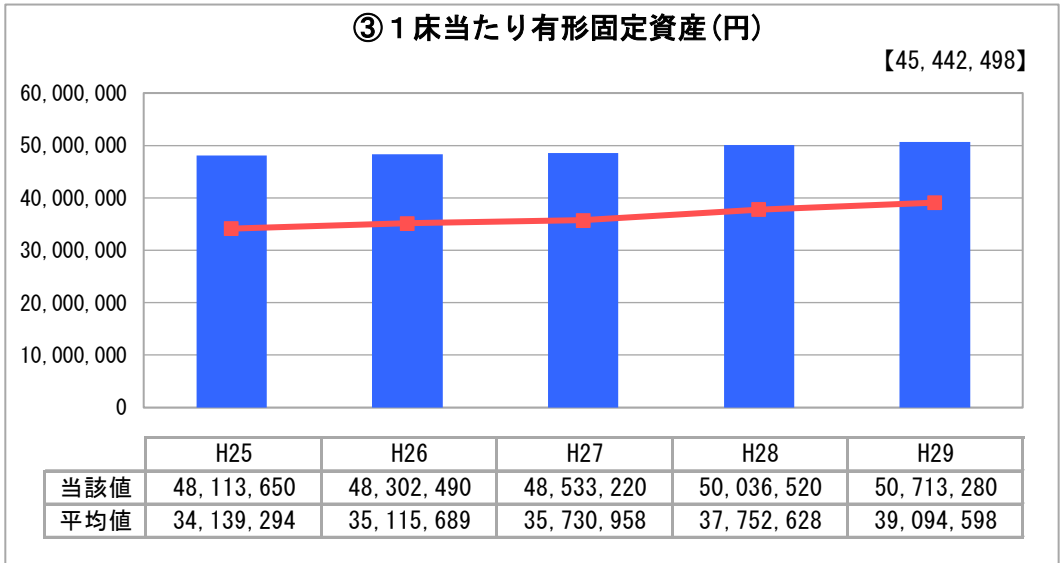
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当地域(横芝光町)は、3人に1人が65歳以上である超高齢社会地域であり、2025年問題を迎えるにあたり更に高齢化が進んでいるため、地域住民の当病院に対するニーズは非常に高まっている。このような状況の中、町内唯一の入院施設を備えた病院として地域住民からは無くてはならない医療施設として、重大な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

慢性的な医師不足の為、病床の効果的運用までには至っておらず、類似団体と比較しても、診療単価が低く、料金収入が確保できていない。しかしながら前年度に比べ微増ながら入院、外来ともに診療単価も向上しており、引き続き料金収入確保に努めたい。業務委託等の内容見直しを行い業務効率化を図り、その他経費についても削減等に努めているところである。当院の経営状況改善に最も必要とされるのが医業収益の増収であり、これには医師確保が急務である。常勤医の確保を狙い、看護師を充足させ看護基準の維持を必須とし、患者数及び診療単価の向上を目指す。地域包括ケア病床の拡充により病床の効率的な運用を図る。

2. 老朽化の状況について

平成3年建設より27年が経ち、耐震性を含め建物自体は目立った老朽化は見当たらないものの、排水管や給水管等の細かい部分においては、老朽化による不具合が生じている。次年度以降において長期計画的に施設修繕を実施し長寿命化を図っていくものである。

全体総括

当院は、更に進む高齢化に対し、医療提供体制の充実強化が求められる中、それらを支える医師を含む医療従事者の確保が急務である。今後は医師を含む医療従事者の確保施策が重要となるため、民間紹介会社の活用、ウェブ広告等を活用した病院PR活動の実施、並びに奨学金貸付制度の奨励等、人材確保に努める。また、健全経営のためには、千葉県地域医療構想に基づいた近隣病院等との連携を更に強化し、医療機関相互の協議による病床機能の分化・転換も視野に経営改善に取り組んでいくことが重要だと考えられる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。